

平成19年度第2回高津区区民会議摘録

日 時 平成19年10月18日(木) 午後6時00分～午後8時30分

場 所 高津区役所5階第1会議室

1 出席者

(1) 委員 新井委員、井桁委員、伊中委員、漆畑委員、大野委員、長村委員、加藤委員、木村委員、小島委員、吉田委員、鈴木委員、宗田委員、瀧村委員、富田委員、橋本委員、宮田委員、横山委員、吉崎委員、若林委員

(2) 参与 石田参与、粕谷参与、斉藤参与

(3) 事務局 区長、副区長、総務企画課長、企画調整担当主幹、こども総合支援担当参事、区民サービス部長、保健福祉センター所長、保健福祉センター副所長、建設センター所長、地域振興課長 他

(4) 傍聴者数 8人

2 次第

(1) 開会

(2) 新委員紹介

(3) 議事

1 子ども・子育て支援

【資料1参照】

2 放置自転車問題

【資料2参照】

3 安全・安心のまちづくり

【資料3参照】

4 環境まちづくり

【資料4・5・6参照】

5 その他

(4) 報告

1 新実行計画(区計画)の策定について

【別冊資料参照】

2 平成20年度協働推進事業の事業計画について

【資料7参照】

(5) 閉会

1 開会

宮田委員長及び梶区長あいさつ

2 新委員紹介

事務局から新委員の紹介

3 議 事

(1) 子ども・子育て支援

資料 1 により事務局から説明。

委員 前回の会議で、このマンションに要望を出すことになったことは、よかったと思うが、この取組がこれからも起こるであろう開発事業に対して効き目を発揮していけるとよいと思う。

事務局 結果として事業者側がきちんと何らかの形で保育施設に向けて計画変更をするという、区民会議として目的としていたところを達成できた。

(2) 放置自転車問題について

資料 2 により事務局から説明。

委員 前回の案より大分よくなった。チラシの全戸回覧は、単発ということではなく年に 2 回ぐらいはお願いしたい。

委員 区民会議の存在が区民自身の中に浸透していない。全戸回覧の際、区民会議の名前をもう少し大きくしてほしい。

委員長 区民会議のアピールは、もう少し考えてほしい。

事務局 チラシの複数回回覧ということであれば、予算的な問題もあるので、とりあえず 1 回実施して効果を確認後、会議の総意に従って実行したい。また、区民会議全般の P R も、市政だより高津区版等で鋭意行っているとともに、昨年度の中間報告は全戸回覧している。正副委員長と相談の上、区民会議フォーラムの開催など、区民会議の周知について検討したい。

委員 チラシには字のみではなく、真ん中辺りに自転車のイラストなどを載せた方がより効果的である。

委員 回覧では町会に入っていない人間は見る機会がない。ポスターも出したらどうか。

委員 放置自転車は駅前だけでなく、無人のコイン駐車場に置くなど巧妙になっている。土地の持ち主に市から警告してほしい。

委員長 駅前のマンションの駐輪場に置いていく人間もいる。

委員 平瀬川跡地駐輪場の進捗状況をお知らせいただきたい。

事務局 管理のあり方等について、2 日ぐらい前に最終的な合意を得た。暫定駐輪場という条件はあるが、施設の建設に向けて速やかに着手していきたい。

委員 それはどこの部分になるのか。

事務局 入谷橋から高津中央病院のところである。

委員 何台ぐらい置けるのか。至急使えるようにしてほしい。

事務局 5 4 3 台の想定であり、早急に整備したい。

委員 放置自転車を撤去する人員は何名いるのか。

事務局 駐輪場の整理については、建設局が交通安全協会に委託して対応している。また、重点地区の公道上の放置自転車撤去は、区役所の非常勤嘱託職員が3人で行っている。重点地区以外の公道では建設センターで直接職員が対応している。

委員 このたび整備されたポレポレ通りの放置自転車対策について、区では何か考えはあるのか。

事務局 旧平瀬に駐輪場を設置するので、時間制を採用したうえで、そちらに買い物客を誘導して、ポレポレ通りの放置自転車の解消を図りたい。

委員 回覧ではなく、チラシを直接放置自転車のかご、あるいはハンドルに輪ゴムでかけてはどうか。予算も少なくても済むと思う。

委員長 各団体でも同様のことを行っているが、効果がない。やはり一般区民にPRする意味からも、今回は回覧としたい。

委員 ポスターを主だった駐輪場に掲示できないか。行動する区民会議として委員が貼りに行ってもよい。

事務局 駅前の放置自転車は、ほとんどが東急電鉄の利用者である。東急電鉄と区との協議でもポスターについては話が出ており、再度提示して協力を得たい。

委員 川崎は横浜に比べ、町のごみが気になる。放置自転車だけでなく、そういった問題も区民会議で検討したい。

委員長 いろいろと意見をいただいたが、回覧用チラシについては、皆さんの意見を取り入れて修正して実施してもらいたい。

(3) 安心・安全のまちづくり

資料3により事務局から説明。

委員 防犯パトロール隊でそろいの帽子を用意したいので、区から補助を出せないか。また、市の要請により、試験的に青色防犯灯を設置したが、賛否両論がある。街灯の少ない通りで、家の門扉に青色回転灯等をつけるという案はいいと思う。取組に参加してくれる家を募って、早期の実現をお願いしたい。

委員 私のところの町会でも試験的に4ヶ所つけたが、評判がよくなって、積極的につけたいという意見が出ていない。市ではどういう形で青色防犯灯に取り組んでいくのか、検証の結果が出次第知らせしてほしい。青色だとどうしても暗くなってしまう。

委員 私のところの町会では3ヶ所つけたが、特に苦情は出ていない。防犯灯を意識してもらおうということでは、よかったと思う。

委員長 新聞報道では、犯罪が減ったとか、気持ちが和やかになるとあった。だが、確かに照度が落ちて暗くなる。街自体が明るいところであればよいが、場所にもよるので、工夫が必要である。町会の会館に青色回転灯をつけるのというのはいいと思う。

委員 綾瀬市の事例では、防犯ステッカーは効果を生んでいるのか。

事務局 綾瀬市では重点的な防犯パトロール活動を連携して実施しているので、ステッカー自体の効果は評価しづらい。ただ、地域ぐるみで防犯に取り組んでいるということは犯罪者に示せるので、一定の効果はあると思う。

委員 併せて防犯パトロールを徹底的にやるということならば、効果が望めるので検討に値すると思う。

委員 私のところの町会分として、防犯ステッカー約1,000枚を早急にいただきたい。

事務局 区民会議の総意であれば、その実現に向けて努力したい。

委員 例にあるのは綾瀬のステッカーなので、もう少し違いを出した方がいい。

委員長 全戸配布なり希望者を募っての配布などということで、予算的には措置できるのか。

事務局 配布部数等については予算との兼ね合いもあるので、検討させていただきたい。

委員 安全・安心のまちづくりの根底には倫理観、マナーの欠如の問題があり、まちが汚いところでは犯罪が多いと言われている。こういった問題に、区民会議がどういう形で取り組めるかも課題である。

委員 今の発言に関連して言えば、廃棄物の集積場に、例えば宮前環境事業所と連携して、廃棄物減量指導員にポスターを掲示してもらうことなどができないか検討してほしい。

委員 暮らしやすい町とは、コミュニティの中で声をかけ合う関係があることだと思う。青色回転灯が無人の町会会館で回っているとか、子ども110番のステッカーを貼っているお宅が始終留守では意味がない。地域で声をかけ合う関係を築く、区民が一緒になって住みやすい町をつくっていく、そういう取組方をしたい。

事務局 ポスター、ステッカーは、犯罪者に対して、この地域はこういうことをやっているというアピールを意識した形で考えさせていただきたい。

委員長 様々な意見・提案をいただいたが、よろしいようであれば、この案に示された方向で取りまとめていきたい。

(4) 環境まちづくり

資料4・5・6により事務局から説明後、委員2名から調査活動の報告。

委員 実際に区内を回ってみると、新しい発見が結構あった。円筒分水は、あまりに汚いのでびっくりした。もう少し整備したらいいと思う。

委員 円筒分水は工事中なので仕方がない。来年3月くらいの工事完成後はよくなる。

委員 区民が自分たちの区を知らなすぎる。参加者に実費を負担してもらい、マイクロバスで区内を回って、環境問題や区の直面する問題をもっと知ってもらう体験ツアーを、文化協会において年何回か実施する方向で計画している。

区長 円筒分水は今年、水を抜いて本体の補修工事をする。ただ、周辺の桜を生かした

環境整備は予算要求をしている段階で、来年度きれいになる予定である。

委員 地球温暖化の問題は、町会の協力をいただいて、区民の意識の高揚を図る必要がある。また、公共施設の壁面緑化、屋上緑化を予算のある限り計画的にやるべきである。さらに、小さいときからの環境教育を一貫してやっていく必要がある。

委員 地球温暖化対策については、マイバツクの推進など、我々が明日からでもできるような身近なことから取り組むのがよい。また、多摩川のごみは市外からの持ち込みがほとんどで、これをどうにかできないものか、対策を講じる必要がある。

委員 レジ袋有料化は市内で試験的に進めている。環境問題は地球規模で考え、台所からの実践と言われるが、まさにそうした観点が地球温暖化防止活動につながる。

ごみ問題も、何のために削減するかという観点からの学習、アピールが必要である。そういった観点から、11月18日に教育文化会館で「ゴミニティ ご近所の底力」という自分たちの取組を自慢する大会で、お互いに学習をする機会をつくった。

また、新エネルギーを入れても浪費してしまっただけでは意味がないので、各家庭でエネルギー削減に取り組む必要がある。環境家計簿に取り組むようなキャンペーンを、町内会レベルで議論して取り組むスタイルができると非常におもしろくていいと思う。ごみ問題は環境問題につながっているというコーディネートをすることが大切であり、そういった意味で、町内会ぐるみで広げていくという取組が、この区民会議の取組の大きな柱になるのではないかと感じている。

委員 ビルの屋上緑化、壁面緑化は、区や区民会議からの要望又は区の指針として民間事業者へ呼びかけることができないか。

区長 現在、区役所庁舎を環境展示場にしていく取組等を推進している。ゴーヤーによる「緑のカーテン」の普及促進等を通じて、緑化推進を民間の建物にも広めていきたい。また、溝口周辺を緑化推進重点地区に指定する動きもある。

委員 事業主側から言わせると、レジ袋をなくすことによって、どこで買ってきたのかわからなくなるため、万引きがもの凄く増えるという意見もあるので、参考までに報告させていただく。

委員 環境家計簿の実施に当たっては、期間を定めてコンクールを行うなどすると、前年と比較して数字として結果が見えてくるので、具体的な活動として推進する際にいいと思う。さらに、エコライフを実践することで削減できたお金を、緑化のための基金に回すことにより、エコライフと緑化をつなげることができないかと思う。

委員 ここで出た問題を、町会や学校単位はもちろんのこと、各団体の活動の中でも実践できればと考える。特に、先程のコンクール等では、団体で取り組んでも成果が挙がると考えるので工夫したい。

委員長 いろいろな意見・提案をいただいたが、少しこの議論を整理して、次回の区民会議で方向性を確認したいと思う。

(5) その他

委員長 前回の区民会議で議論をいただいた災害時の要援護者に対する支援の報告については、現在、町内会・自治会や自主防災組織等において説明会を開催しており、その状況を踏まえながら、区民会議で議論をいただければと考えている。

参与 新築の小中学校では節減電力のカロリー量が分かるようになっている。予算がかかることではあるが、各家庭にもあるとよりいいと思う。こういう中で、環境家計簿というのは本当にすばらしいものだと思う。また、車のアイドリングストップの機械があるが、設置の費用を市で補助できればいいと思っている。それから、久地にある「かすみ堤」という堤防の保全について、請願が出され全会一致で採択されたが、今後も見守っていきたい。

4 報告

(1) 新実行計画(区計画)の策定について

別冊資料により総合企画局職員及び事務局から説明。

委員 区計画にある「地域コミュニティ施策推進事業」では、町内会、自治会の独自の発意によって行政と一緒にやるという形になるのか伺いたい。区民会議でも町会の高齢化とか、いわゆる新住民が町会に入らないという課題があって、地域コミュニティをもう一回再生しなければならないというのは、そのたびに話題になっている。この事業にそういう可能性があるのかを知りたい

事務局 今考えているのは、手を挙げていただいたモデルの町内会・自治会と一緒に、その地域固有の課題を解決するために専門家も入れて、様々な活動分野で具体的な取組を実施する予定である。そのうえで、事例集を作成するなどして、ノウハウを広く共有化することを考えている。

(2) 平成20年度協働推進事業の事業計画について

資料7により事務局から説明。

委員 協働推進事業の5,500万という総額は、各区とも同じ金額なのか。また、先程の「地域コミュニティ施策推進事業」における町内会・自治会の3つのタイプとはどういうものか。

事務局 事業費の総額は各区同額である。タイプについては、今のところの想定では、駅周辺等のマンションが多いところ、郊外で一戸建てが多いところ、その中間的なところの3類型を考えている。これらにコンサルタントを入れて、専門的なアドバイスをもらう予定である。

委員 区計画の「地域防災力向上事業」についてだが、組織の強化はいいが、現実問題としては、避難所の資機材等が十分でないことが課題である。

事務局 それは一番の課題だと思っており、市の事業として危機管理室が備蓄倉庫の整備を計画している。区の事業としてはソフト面について取り組んでいきたい。

5 閉会

吉崎副委員長あいさつ